

2019年6月10日  
在グアテマラ日本国大使館

2019年4月における公開情報の取りまとめは以下のとおり。

## 1 内政

### (1) 2019年総選挙に関する動向

3月18日～6月14日まで2019年総選挙（大統領選含む）キャンペーンが行われている（日程は表1）。また、4月4日、民間調査会社 ProDatos は、以下のとおり世論調査結果を発表した（表2）。

なお、総選挙の対象となる公職は、①大統領・副大統領、②国会議員160議席、③市長（全国340市）、④市議会議員3,421議席、⑤中米議会（PARLACEN）正20議席および副20議席である。

<表1：2019年グアテマラ大統領選挙（総選挙）日程>

日程	内容
2019年1月19日～3月17日	候補者登録期間（申請書の提出期限）
2019年3月18日～6月14日	選挙キャンペーン期間
2019年6月16日	第一回投票・開票 ※大統領選以外は第一回投票のみで終了。
2019年8月11日	決選投票 ※第一回投票で過半数に達した候補がない場合に実施。 過去の大統領選において第一回投票で過半数に達した候補はおらず、全て決選投票で決定している。
2019年8月11日	決選投票・開票
2020年1月14日	新大統領就任

<表 2 : ProDatos 世論調査結果（上位 1 ~ 14 位のみ抜粋）>

写真	支持率	候補者名	政党名	その他
	20.7%	サンドラ・トーレス	国民希望党 (UNE) 中道左派	・2015 年大統領選候補（決選投票まで進むがモラレス大統領に敗れる）。 ・コロソ元大統領の元夫人
	15.9%	スリー・リオス	バロール (VALOR) 右派	・リオス・モント元大統領の娘。 ・2015 年の大統領選に出馬。
	9.5%	テルマ・アルダナ	種の運動党 (Semilla) 中道左派	・前検事総長
	7.4%	アレハンドロ・ジャマテイ	バモス (VAMOS) 右派	・過去 3 回（2007, 2011, 2015 年）に亘り大統領選に出馬。 ・元刑務所主管庁長官
	3.8%	ロベルト・アルスー	ポデモス (PODEMOS) と 国民進歩党 (PAN) の連立 右派	・企業家 ・サッカーチーム「コムニカシオネス」の元オーナー
	3.7%	マリオ・エストラダ	国民革新党 (UCN) 右派	・過去の大統領選に出馬 ・4 月 24 日に候補者登録が取り消された（下記（2））。
	2.7%	エドモンド・ムレット	ウマニスタ (HUMANISTA) 中道右派	・国連・化学兵器禁止機関共同調査機構のシリアにおける化学兵器使用調査委員長等の国連ポストを歴任。
	2.3%	アルフレド・カブレラ	みんなの党 (TODOS) 右派	・元グアテマラ弁護士協会会長
	1.7%	アミルカル・リベラ	勝利党 (Victoria) 右派	・元グアテマラ県ミスコ市長
	1.6%	テルマ・カブレラ	国民解放運動党 (MLP) 極左	・先住民人権活動家
	1.3%	フリオ・エクトル・エストラダ	公約・革新・秩序運動党 (CREO) 右派	・前財務大臣
	1.2%	パブロ・セト	国民革命連合 (URNG) 極左	・元国会議員

	1.1%	エドウィン・ エスコバル	市民繁栄党 (PC) 中道右派	・現グアテマラ県ビジャヌエバ市長
	1%	エストゥアルド・ ガルダメス	国民集中戦線 (FCN) (現与党) 右派	・現国会議長団の第一書記

(2) 2019年大統領選：マリオ・エストラーダ候補の米国における逮捕と候補者登録取り消し  
4月24日、最高選挙裁判所(TSE)は、大統領選挙に候補者として参加するための条件を満たさないとして、マリオ・エストラーダ国民革新党(UCN)大統領候補の候補者登録の取り消しを全会一致で決定した。エストラーダ候補は、4月17日、コカインの米国への密輸ならびにマシンガンの使用および所持により、ファン・パブロ・ゴンサレス・マジョルガと共にマイアミにおいて逮捕された。

米国の司法当局によると、エストラーダ候補は、同人の大統領選挙資金としてシナロア・カルテル(メキシコの麻薬犯罪組織)に1,200万米ドルを要求し、大統領に選出された場合には、米国へ麻薬を密輸するためにグアテマラ国内の空港および港湾施設を自由に使えることを同カルテルに保証したとされている。また米国麻薬取締局(DEA)によると、同候補は、資金提供の代わりに、シナロア・カルテルが選んだ候補数名から内務大臣および国防大臣を任命することをオファーしていた他、大統領候補2名の暗殺を計画していた。

## 2 外交

### (1) 移民情勢：トランプ米大統領による中米への支援停止発言

3月29日、トランプ米大統領は、中米北部三カ国(グアテマラ、ホンジュラスおよびエルサルバドル)が中米移民問題に関して何もしていないため、米国は同三カ国への支援を停止する旨発言した。

グアテマラ政府は正式な反応を示さず、ブリート大統領府報道官兼広報庁長官は、米政府による中米三カ国への援助停止に関し何ら発表する予定はないと述べた。

モイール大統領府企画庁長官は、支援停止について米政府から正式な通報を受けておらず、長年に亘り米国からは協力継続の意向が示されてきた、既に合意・署名済みの事業は無効にできないため継続されるが、もし援助が停止されれば将来のプロジェクトに影響を及ぼすであろうと述べた。

援助関連専門家らは、実際に財政支援が停止されれば、これまで進められてきた移民防止プロジェクトが成果に結びつかないまま終了し、不法移民の増加につながる可能性があるコメントした。また、米大統領の支援停止発言は2020年の米国大統領選挙へ向けての政治キャンペーンの一環であり、支援停止には最終的に米議会の承認が必要であるので、短期に全ての財政援助が引き上げられる訳ではないであろうと専門家らは指摘した。

### (2) 移民情勢：エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラスによる共同声明

グアテマラ外務省は4月4日、トランプ米大統領による中米への支援停止発言には言及してい

ないものの、米国を目指す中米発の不法移民問題に関しエルサルバドル政府およびホンジュラス政府と連名で3日付共同コミュニケを発出したところ、概要は以下のとおり。

「エルサルバドル、グアテマラおよびホンジュラスの各政府は、子供、青少年、成人による米国への不規則な移住の状況に鑑み、子供の利益最優先の原則、家族の団結（統一）および適切な手続きを尊重するために、それぞれの外交・領事団を通じ、移民の保護、支援および領事サービスを行う使命および準備があることを改めて表明する。

エルサルバドル、グアテマラおよびホンジュラスの各政府は、不規則な移住という状況において、未成年者の肉体的、精神的、また情緒的な保全を危険に晒す行為を行う如何なる者も非難し拒絶する。

エルサルバドル、グアテマラおよびホンジュラスの各政府は、多くの子供および青少年が多大な危険がある不規則な移住を開始しようとする中、各国の司法機関に対し、不法移民の仲介や人身売買にかかわる犯罪組織を捜査し、処罰することを要請する。また、米国政府にも同様に捜査および訴追への協力を要請する。

さらに各国政府は、父母に対し、子供達が不規則な移住を試みることで危険に晒され、これらの犯罪の被害者になることを避ける必要があることを呼び掛ける。同様に、同胞達に対し、未成年者と一緒に不規則な移住を実行しても、通過国または最終目的国に留まることは保障されず、反対に強制送還される可能性があることを知らせたい。

人的な盾として青少年を使うだけでなく、如何なる状況においても彼らを危険にさらすことは、捜査対象となり、法律により罰せられる。

エルサルバドル、グアテマラおよびホンジュラスの各政府は、人身売買や青少年の違法な取引、不規則な移住に関連するその他の犯罪行為に対峙し、それら犯罪者に出来る限りの制裁を与えるべく、必要な法制度の整備および強化に努めることを約束する。」

### 3 経済

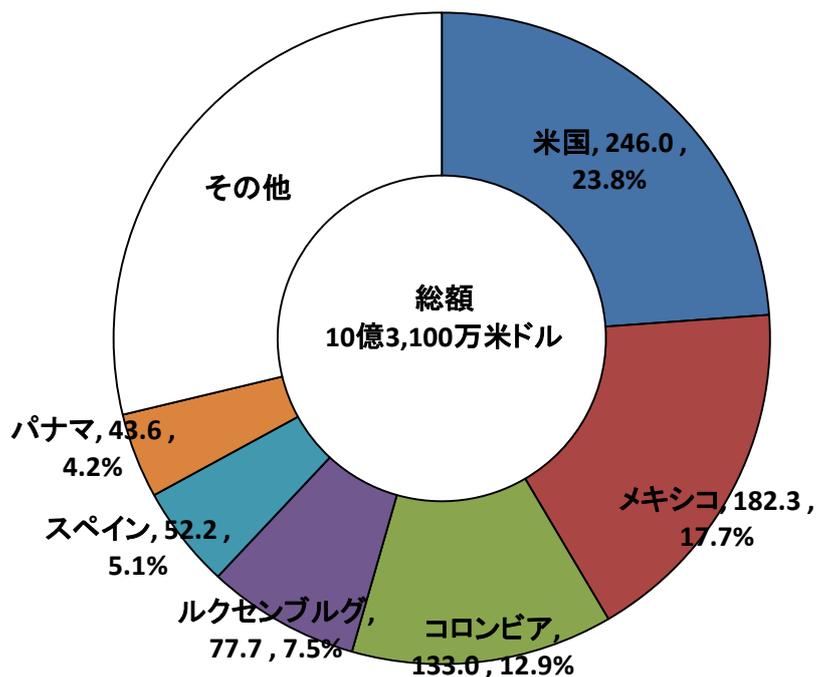
(1) 2018年外国直接投資（FDI）：前年比△11%

グアテマラ中銀によると、2018年の外国直接投資（FDI）は10億3,200万米ドルで前年よりも11.7%減少した（内訳はグラフ1および2参照）。

専門家は、治安の悪さ、総選挙による不確実性、モラレス現政権のグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）との対立、不安定な内政、司法的確実性（*certeza juridica*）の欠如、消極的なインフラ投資等がFDI減少の背景にあると述べている。

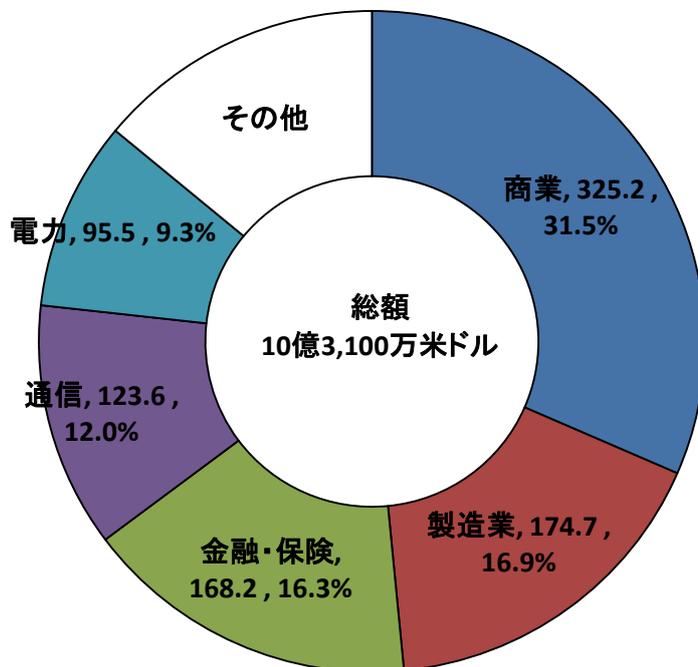
＜グラフ1：グアテマラへの直接投資・国別（2018年）＞

（単位：百万USD，%）



＜グラフ2：グアテマラへの直接投資・分野別（2018年）＞

（単位：百万USD，%）



（出典：中銀）

（2）フィッチ・レーティングス社による当国信用格付けの引き下げ

4月11日、投資格付け会社フィッチ・レーティングはグアテマラの格付けをBB安定的からBBネガティブに引き下げた。フィッチ・レーティングス社によると、格付け引き下げは緊迫した当国の政治情勢、低い税収、モラレス政権とC I C I Gの対立や本年の総選挙などが理由となっている。政権に関しては、本年の総選挙後の次期政権が脆弱なものとなることが見込まれる他、多数の政党が存在することにより国会で過半数を得らえる政党が存在せず、分裂した国会で法案審議が継続的に停滞することが予測され、各種改革への期待が減少していると報告している。

バジャダレス経済大臣は「今般の格付けで重要な点は、格付け符号がBBのまま据え置きされている点である。現在は選挙期間中であり、様々な展望や期待が示されるが、国家として成熟した方法で対処しなければならない」旨述べた。

#### 4 治安・社会

(1) 世界幸福度ランキングでグアテマラ27位（日本58位）

国連は2019年世界幸福度ランキング（World Happiness Report）を発表し、グアテマラは27位／156カ国であった。グアテマラは2018年30位、2017年29位、2016年39位、2015年43位であったため、幸福度が向上していることがわかる。

エル・ペリオディコ紙は、上位の国々と比べ、グアテマラはGDPや国民の所得等の経済指標が低く、発展レベルも低い一方で、幸福度が向上していることはグアテマラ社会が前向きな精神を持っており、社会を引き裂く混乱よりもそのような前向きな姿勢の方が強固であり、ポジティブ志向が国民の結束力を高めていることを示していると分析している。

なお、北米・中米・南米のトップ10は、1カナダ、2コスタリカ、3米国、4メキシコ、5チリ、6グアテマラ、7パナマ、8ブラジル、9アルゼンチン、10ウルグアイであった。世界トップ3は、1フィンランド、2デンマーク、3ノルウェーであり、日本は58位である。

◇主要経済指標◇	2019年			2018年	2017年
	4月	3月	2月		
インフレ率（前年同月比）	4.75%	4.17%	4.46%	2.31%	5.68%
貿易収支（百万ドル）	△688.1	△561.8	△557.3	△8,743.8	△7,407.7
輸出（百万ドル）	934.0	1,064.2	902.3	10,990.2	10,982.0
輸入（百万ドル）	1,622.1	1,626.0	1,459.6	19,734.0	18,389.7
外貨準備高（百万ドル）	12,845.9	12,759.2	12,557.2	12,755.6	11,769.5
外国からの送金（百万ドル）	865.1	826.7	690.4	9,287.7	8192.2
為替レート（対ドル月平均）	7.64	7.69	7.73	7.52	7.35

（出典：中銀、国立統計院） 注）本年より前の年の為替レートは年平均